

■市道 15 号溝尻・高雄線（通称：東校通り）及び東校通り周辺の地域を文教地区にふさわしい「緑」のある街並みにするよう土地利用を見直す事に関する陳情

1. 要旨

市道 15 号溝尻・高雄線（通称：東校通り）は、太宰府東小、太宰府東中、太宰府高校、高雄公園、たかお幼稚園、南小、星ヶ丘保育園をつなぐ道路である。この道路を中心に市内有数の教育施設が集まっており、この地域は文教地区である。文教地区にふさわしい街並みとするよう下記の①～③を要請する。

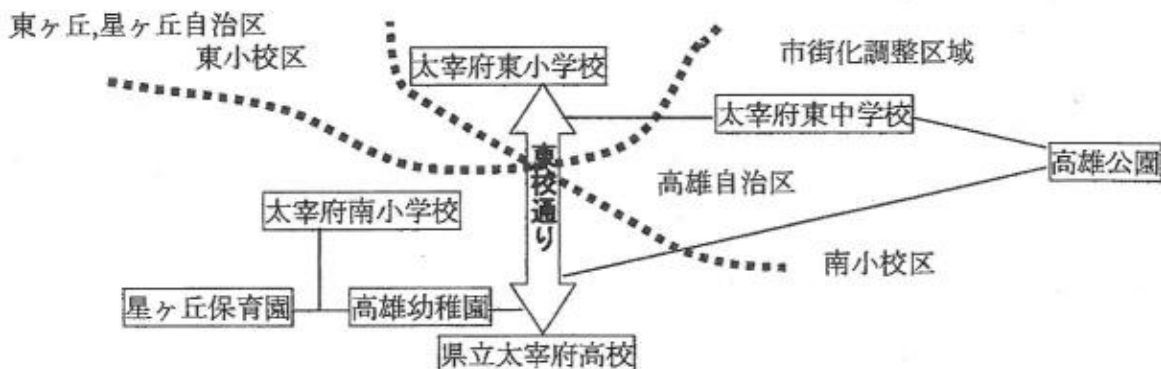
- ① 文教地区にふさわしいステキな街並みになるように、東校通りの街路樹の植え替え
- ② 東小校区と南小校区と分断させず、自治区の縛りを外し、文教地区として管理して発展できるような土地利用の方針の見直し
- ③ 学校や住宅街に隣接する「守るべき緑」とはどのようなものか検討し、市民が安心して歩けるような「緑」のある地域になるように、市街化調整区域の区分変更を含めて検討すること

2. 理由

- ① 市道 15 号溝尻・高雄線には東小学校と並行してカイツカイブキの街路樹がある。通学路でもあるが、生茂り過ぎて危険認知しにくく、また歩道にはみ出して危険である。カイツカイブキは学校建設時に当座の緑を作るために植えたに過ぎないと思われる。近隣住民への配慮を考え植樹されたものだったようだが、学校のグラウンド側にも植えてあり、圧迫感のあるカイツカイブキを二重に植える意味はないように思う。もっと季節感のある美しい通りを演出できる樹木を植えた方が、歩行する学生をはじめ市民に安心感を与え、東校通りと呼ばれるにふさわしい、ステキな街並みになると思うため。

②

＜市道 15 号溝尻・高雄線（通称：東校通り）を中心とする教育施設の配置＞



上図のように、この地域は一本の道を中心として東小、東中、太宰府高校、高雄公園、たかお幼稚園、南小、星ヶ丘保育園がつながる市内有数の教育施設の集合エリアである。これまで土地利用の方針は東小学校区、南小学校区と分けて考えていたため、せっかく集合している教育施設は分断され、また市街化調整区域のため外灯が消えていても、人はあまり住んでおらず自治区も分かれているため管理が行き届いていなかった。太宰府市がこの地域を「文教地区」として認識して、これまでの学校区や自治区とは別に新しく「文教地区」として土地利用を見直し、この地域が発展するように努めた方が、地域の魅力、市の魅力となり、高齢化した地域に若い世帯が転入してくるきっかけにも繋がるだろうと思うため。

- ③ 市道 15 号溝尻・高雄線（通称：東校通り）は、住宅地と市街化調整区域を分断している道路である。東小・中校は市街化調整区域内にある。しかし「守るべき緑地」とされた、住宅地と学校に隣接する市街化調整区域の緑地は優れた自然環境の保全に役立っているとは言い難い。なぜなら土取り場所や中古車販売になっていたり、不法投棄の場所となったりしており、生い茂った緑地はあまり管理されていないようである。良好な住宅団地と学校に隣接する緑地としては管理されていない現実を受け止め、文教地区における「守るべき緑地」とはいかなるものかを見直し、文教地区にふさわしい管理された緑地にする必要がある。市街化調整区域のままで良いのか、市が建築協定などで指針を示した緑豊かな住宅地への区分変更を検討できないか、市街化調整区域のままだも文教地区にふさわしい、学生が歩行しても危険でなく市民に親しまれるような緑地に変えられないのか、定期的に伐採した方が良いところはないかなど、十分検討して土地利用の方針を決めるべきと思うため。

平成 27 年 5 月 22 日

太宰府市議会議長 殿